



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社コラボス 上場取引所 東  
 コード番号 3908 URL http://www.collabos.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茂木 貴雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 青本 真人 TEL 03(5623)3391  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	936	8.2	152	△0.4	152	0.7	93	△8.5
29年3月期第2四半期	865	11.9	153	34.8	151	32.3	102	35.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	65.82	57.19
29年3月期第2四半期	72.42	63.33

(注) 当社は、平成28年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,823	1,394	75.0
29年3月期	1,720	1,293	73.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,367百万円 29年3月期 1,267百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,020	11.3	300	2.4	298	3.0	195	0.1	134.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	1,425,600株	29年3月期	1,414,800株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	一株	29年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	1,421,610株	29年3月期2Q	1,411,354株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第2四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国をはじめとする海外経済の回復傾向を受け、輸出・生産において持ち直しを続けており、継続する企業収益の改善や、堅調に推移する雇用所得環境と消費者マインドを背景とした個人消費の回復もみられ、景気は緩やかに回復基調を続けております。今後の先行きについては、海外経済における政策動向や金融市場動向等の影響に留意する必要があるものの、輸出の増加や公共投資の増加、個人消費の底堅さ等、内外需要を背景に引き続き緩やかな回復が見込まれております。

当社が属するクラウドサービス市場につきましては、平成28年末のクラウドサービス利用企業の割合は前年末より2.3ポイント増加し、46.9%に及んでおります。(出典：総務省「情報通信白書 平成29年版」)

また、クラウド型CRM市場の市場規模につきましては、平成28年度1,291億円となり、前年度1,052億円から22.7%増加し、企業がシステムを自社構築するオンプレミス型の市場がダウントレンドで推移しているのに対し高い成長率を維持しております。この背景には、設備投資においてコストを資産ではなく経費として計上できる点や、システム構築及び規模拡張等におけるリードタイムの短縮化、セキュリティの信頼性の向上等が期待できる点が挙げられ、今後も企業におけるクラウドの利用はさらに拡大するとみられており、同市場は平成29年度も前年度比24.9%増加の1,612億円で推移すると見込まれております。また、平成28年度以降における平均成長率は24.2%と高水準で推移し、平成33年度には3,867億円にまで拡大すると予測されております。(出典：株式会社ミック経済研究所「クラウド型CRM市場の現状と展望 2017年度版」)

このような環境下、当社は受注拡大に積極的に取り組んだ結果、主力商品である@nyplace (IPネットワークを利用した電話交換機機能をクラウドで提供するインバウンド向けのサービス) につきましては、売上高は順調に推移しました。また、COLLABOS CRM (コールセンター業務に特化したインバウンド向け顧客管理システムをクラウドで提供するサービス) につきましては、一時的な契約ID数の減少はあったものの、COLLABOS PHONE (インターネット環境を利用したソフトフォンをベースとした電話交換機機能をクラウドで提供するサービス)、COLLABOS CRM Outbound Edition (コールセンター業務に特化したアウトバウンド向け顧客管理システムをクラウドで提供するサービス) 等のユーザビリティの高いサービスにつきましては、それぞれ順調に推移しました。これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は936,578千円(前年同四半期比8.2%増)、営業利益は152,622千円(同0.4%減)、経常利益は152,309千円(同0.7%増)、四半期純利益は93,568千円(同8.5%減)となりました。

なお、当第2四半期累計期間におきましては、音声や通信に特化した開発技術力と豊富な実績を有する株式会社ギークフィールドの株式を取得し、両社の得意分野及び経営資源等を相互に活用することで、お客様のニーズに応える新たなサービス、製品、事業等の開発を加速させるための体制構築を開始いたしました。

当第2四半期累計期間における売上高、売上原価、販売費及び一般管理費の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

① 売上高

当第2四半期累計期間における売上高は936,578千円（前年同四半期比8.2%増）となりました。その主な内訳は、以下のとおりであります。

- ・@nyplaceの期間平均利用席数が6,561席（同803席増）となり、売上高は736,212千円（同8.6%増）となりました。
- ・COLLABOS PHONEの期間平均利用チャネル数が916チャネル（同317チャネル増）となり、売上高は62,185千円（同19.9%増）となりました。
- ・COLLABOS CRMの期間平均利用ID数が2,517ID（同233ID減）となり、売上高は97,351千円（同3.1%減）となりました。
- ・COLLABOS CRM Outbound Editionの期間平均利用ID数が708ID（同101ID増）となり、売上高は24,121千円（同12.4%増）となりました。
- ・その他売上高は16,706千円（同22.2%増）となりました。

② 売上原価

当第2四半期累計期間の売上原価は、497,932千円（同7.3%増）となりました。これは主に、各サービスそれぞれで回線料、ネットワーク機器等設備の保守費用、ホスティング費用、顧客毎のコールフロー設定等の作業費用、ソフトウェア及びハードウェアの償却費用等として、@nyplace関連で364,705千円（同5.2%増）、COLLABOS PHONEで62,195千円（同4.8%増）、COLLABOS CRM（Outbound Edition含む）で60,077千円（同22.0%増）の売上原価が計上されたことによるものであります。

③ 販売費及び一般管理費

当第2四半期累計期間の販売費及び一般管理費は、286,023千円（同15.4%増）となりました。これは主に、人件費149,718千円（同7.6%増）、業務委託費、旅費交通費、家賃等の人件費以外の経費136,305千円（25.4%増）によるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて103,477千円増加し、1,823,547千円となりました。主な要因は、リース資産の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて3,171千円増加し、429,352千円となりました。主な要因は、仕入高増加に伴う買掛金の増加等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて100,306千円増加し、1,394,194千円となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末と比べて17,081千円減少し、1,025,378千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は、96,145千円となりました。この主な要因は、法人税等の支払額42,943千円があった一方で、税引前四半期純利益134,533千円の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果支出した資金は、89,069千円となりました。この主な要因は、基幹システム導入及び既存サービス等への設備投資による固定資産の取得による支出が75,073千円、関係会社株式取得による支出が13,995千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果支出した資金は、24,157千円となりました。この主な要因は、リース債務の返済による支出30,941千円があった一方で、株式の発行による収入6,784千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月2日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,042,460	1,025,378
売掛金	266,520	240,253
商品及び製品	803	1,794
前払費用	13,357	26,558
繰延税金資産	5,455	5,455
その他	779	33,219
貸倒引当金	△426	△216
流動資産合計	1,328,949	1,332,444
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,078	33,293
減価償却累計額	△4,078	△1,847
建物(純額)	0	31,445
工具、器具及び備品	363,937	368,821
減価償却累計額	△334,068	△341,324
工具、器具及び備品(純額)	29,868	27,496
リース資産	301,774	371,188
減価償却累計額	△119,896	△149,145
リース資産(純額)	181,877	222,043
有形固定資産合計	211,746	280,985
無形固定資産		
ソフトウェア	90,183	111,852
ソフトウェア仮勘定	26,100	10,675
その他	414	414
無形固定資産合計	116,698	122,942
投資その他の資産		
関係会社株式	6,120	20,115
長期前払費用	2,876	2,144
差入保証金	26,424	37,660
破産更生債権等	19	16
繰延税金資産	27,254	27,254
貸倒引当金	△19	△16
投資その他の資産合計	62,674	87,175
固定資産合計	391,120	491,103
資産合計	1,720,069	1,823,547

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	93,933	65,560
短期借入金	10,000	10,000
リース債務	54,120	69,803
未払金	30,444	35,980
未払費用	4,534	5,478
未払法人税等	49,964	47,986
未払消費税等	20,455	6,030
前受金	5,239	3,123
賞与引当金	8,000	5,000
役員賞与引当金	2,000	—
その他	2,612	7,498
流動負債合計	281,303	256,462
固定負債		
リース債務	144,878	172,890
固定負債合計	144,878	172,890
負債合計	426,181	429,352
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	301,464	304,861
資本剰余金	281,464	284,861
利益剰余金	684,210	777,779
株主資本合計	1,267,139	1,367,501
新株予約権	26,748	26,693
純資産合計	1,293,888	1,394,194
負債純資産合計	1,720,069	1,823,547

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	865,263	936,578
売上原価	464,245	497,932
売上総利益	401,017	438,646
販売費及び一般管理費	247,834	286,023
営業利益	153,182	152,622
営業外収益		
受取利息	10	5
受取手数料	38	34
違約金収入	612	1,508
雑収入	231	685
営業外収益合計	892	2,233
営業外費用		
支払利息	2,763	2,540
為替差損	—	7
営業外費用合計	2,763	2,547
経常利益	151,311	152,309
特別利益		
新株予約権戻入益	—	46
特別利益合計	—	46
特別損失		
本社移転費用	—	17,821
特別損失合計	—	17,821
税引前四半期純利益	151,311	134,533
法人税等	49,099	40,965
四半期純利益	102,212	93,568

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	151,311	134,533
新株予約権戻入益	—	△46
減価償却費	63,608	65,336
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	376	△213
賞与引当金の増減額 (△は減少)	500	△3,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△500	△2,000
受取利息及び受取配当金	△10	△5
支払利息	2,763	2,540
売上債権の増減額 (△は増加)	16,672	26,266
たな卸資産の増減額 (△は増加)	—	△991
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,125	△28,372
その他	△12,410	△52,411
小計	211,185	141,638
利息及び配当金の受取額	10	5
利息の支払額	△2,762	△2,554
法人税等の支払額	△53,238	△42,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,194	96,145
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,397	△43,414
無形固定資産の取得による支出	△18,899	△31,658
関係会社株式の取得による支出	—	△13,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	79,703	△89,069
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	176	6,784
リース債務の返済による支出	△26,519	△30,941
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,343	△24,157
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	208,554	△17,081
現金及び現金同等物の期首残高	751,478	1,042,460
現金及び現金同等物の四半期末残高	960,032	1,025,378

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。